平成19年11月8日

各　　位

会　社　名　株式会社 ヤマダコーポレーション
代 表 者 名　代表取締役社長　　山田　豊雄
コード番号　6392
問 合 せ 先　常務取締役　　武田　守征
T　E　L　(03) 3777－5101

中間業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成19年5月18日の決算発表時に公表した平成20年3月中間期（平成19年4月1日～平成19年9月30日）の業績予想を下記のとおり修正します。

記

1．平成20年3月期中間連結業績予想数値の修正（平成19年4月1日　～　平成19年9月30日）

（単位：百万円、%）

	売　上　高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前　回　発　表　予　想（A）	5,190	400	370	170	14.24
今　回　修　正　予　想（B）	5,000	400	360	150	12.57
増　　減　　額（B－A）	△190	－	△10	△20	
増　　減　　率（%）	△3.7	－	△2.7	△11.8	
（ご参考）前期実績（平成19年3月中間期）	4,617	340	307	121	10.21

2．平成20年3月期中間個別業績予想数値の修正（平成19年4月1日　～　平成19年9月30日）

（単位：百万円、%）

	売　上　高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前　回　発　表　予　想（A）	4,200	260	240	140	11.68
今　回　修　正　予　想（B）	4,060	220	190	70	5.84
増　　減　　額（B－A）	△140	△40	△50	△70	
増　　減　　率（%）	△3.3	△15.4	△20.8	△50.0	
（ご参考）前期実績（平成19年3月中間期）	3,806	167	177	105	8.78

3．修正の理由

a)　個別業績予想において期初段階での売上高は、前年同期比10%増の4,200百万円を予想しましたが、オートモティブ部門でのフロンガス回収機器・タイヤ機器、インダストリアル部門での工業用ポンプが期初の予想を下回る見込であり、増加は7%増の4,060百万円程になる見込みであります。

b)　期初段階での営業利益は、前年同期比55%増の260百万円、経常利益は35%増の240百万円を予想していましたが、原材料の高騰や販売管理費のコスト増を吸収しきれず、予想を下回る見込みであります。

c)　「投資有価証券評価」に係る「繰延税金資産」42百万円について、回収可能性が見込まれないため、当中間期において取り崩す予定であり、当期中間純利益は、期初予想の140百万円を大きく下回る見込みであります。

なお、連結中間業績予想は、個別の業績予想の修正によるものであります。

通期の業績予想（平成19年4月1日～平成20年3月31日）につきましては、中間決算発表時（平成19年11月15日）に改めて公表いたします。

以　上

※上記の業績予想は、現時点で得られた情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。